



04



福音

BASE Is Biblical And Solid Essentials
GOSPEL

Introduction

序論



“
私たちは世界が
読んでいる
聖書です。
私たちは世界が
必要としている
信仰告白です。



“

私たちは世界が
注意を
払っている
メッセージです。

-Billy Graham

主の心を
教えられた
福音を伝える者と
されたい

AG EN DA

- 01
- 02
- 03
- 04

**福音を伝える幸い
福音についての考察
個人伝道のポイント
世界視点で見る福音伝道**

Chapter 1

福音を伝える 幸い

Section 1-1

福音を伝える特権

ウジヤ王が
死んだ年に、私は、
高く上げられた
御座に
着いておられる
主を見た。

イザヤ 6:1-5

その裾は神殿に満ち、
セラフィムが
その上の方に
立っていた。
彼らにはそれぞれ
六つの翼があり、

イザヤ 6:1-5

二つで顔をおおい、
二つで両足をおおい、
二つで飛んでいて、
互いにこう
呼び交わしていた。

「聖なる、聖なる、
聖なる、万軍の主。
その栄光は
全地に満ちる。」
その叫ぶ者の
声のために

敷居の基は搖らぎ、
宮は煙で満たされた。
私は言った。
「ああ、
私は滅んでしまう。」

この私は
唇の汚れた者で、
唇の汚れた民の
間に住んでいる。

イザヤ 6:1-5

しかも、
万軍の主である王を
この目で
見たのだから。」

唇の汚れた者

Dirty Lips

ツアラアトの人

Person Of Tzaraath

すると、私のもとに
セラフィムの
ひとりが飛んで來た。
その手には、
祭壇の上から
火ばさみで取った、

燃えさかる
炭があった。
彼は、私の口に
それを触れさせて
言った。

イザヤ 6:6-7

「見よ。これが
あなたの唇に
触れたので、

イザヤ 6:6-7

あなたの咎は
取り除かれ、
あなたの罪も
赦された。」

イザヤ 6:6-7

すると見よ。
ツアラアトに
冒された人が
みもとに来て、
イエスに向かって
ひれ伏し、

マタイ 8:2-3

「主よ、お心一つで
私をきよく
することが
おできに
なります。」
と言った。

マタイ 8:2-3

イエスは
手を伸ばして
彼にさわり、
「わたしの心だ。
きよくなれ」
と言われた。

マタイ 8:2-3

すると、
すぐに彼の
ツアラアトは
きよめられた。

マタイ 8:2-3

神は人を
きよめたい

God Wants To Purify People

**神は人と共に
生きたい**

God Wants To Live With People

罪のきよめを 拡大する人生

A Life That Expands The Cleansing Of Sin

Section 1-2

第1章のまとめ

福音を
伝える人生は
罪のきよめを
拡大する
特権ある人生

Chapter 2

福音についての 考察

Section 2-1

福音がテーマの 聖書書簡

ローマ人への 手紙

Romans

ROMANS OVERVIEW

教理

1-4章

福音は神の義を
明らかにする

1

5-8章

福音は新しい人間性を
生み出す

2

9-11章

福音はイスラエルに
対する神の約束を果たす

3

12-16章

福音は兄弟姉妹を
一致させる

4

実践

×

Section 2-2

ロマ書の概観

ROMANS OVERVIEW



Section 2-3

ロマ書の10の質問

question 1

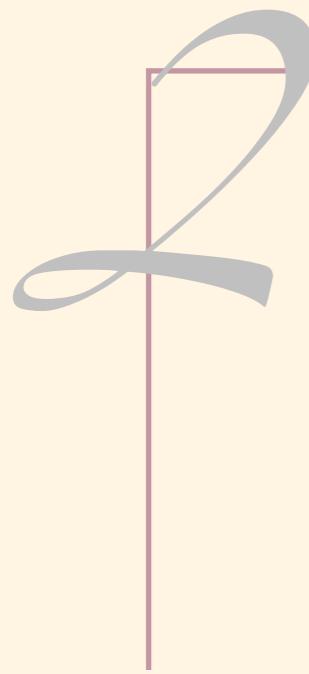
福音とは何か



救いを もたらすもの

What Brings Salvation

福音は、
ユダヤ人をはじめ
ギリシア人にも、
信じるすべての人に
救いをもたらす
神の力です。



神の義を 明らかにするもの

What reveals God's righteousness

福音には神の義が
啓示されていて、
信仰に始まり
信仰に進ませる
からです。

question 1

福音とは何か

answer 1

**人を救う神の力
であり
神の義を
明らかにするもの**

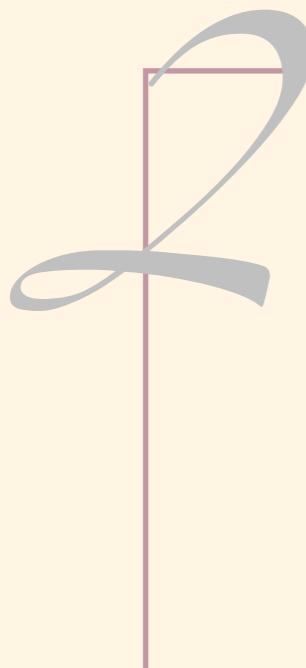
question 2

**福音はなぜ
人に必要か**



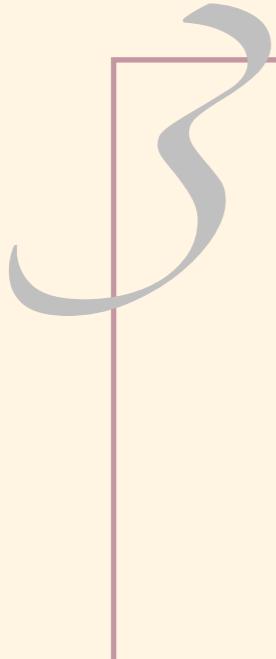
異邦人は罪人 (ロマ1:18-2:16)

Gentiles Are Sinners (Rom.1:18-2:16)



**ユダヤ人も罪人
(ロマ2:17-3:8)**

Jews Are Also Sinners (Rom.2:17-3:8)



**すべての人は罪人
(ロマ3:9-20)**

All Are Sinners (Rom.3:9-20)

question 2

**福音はなぜ
人に必要か**

answer 2

**神に義認される人は
いないため
義認の方法を示す
福音が必要**

question 3

**福音に示された
義認の方法とは
何か**

すなわち、
イエス・キリストを
信じることによって、
信じるすべての人に
与えられる
神の義です。

神の恵みにより、
キリスト・イエスに
による贖いを通して、
価なしに義と
認められるからです。

question 3

**福音に示された
義認の方法とは
何か**

answer 3

キリストによる 罪の解決を 信じる方法

question 4

**福音に示された
義認は旧約聖書と
調和しているか**

「アブラハムは
神を信じた。
それで、それが
彼の義と
認められた」

question 4

**福音に示された
義認は旧約聖書と
調和しているか**

answer 4

旧約に信仰義認の
例があるので
信仰義認は
旧約聖書と
調和している

question 5

**福音に示された
義認がもたらす
祝福は何か**

新しい人間性 への移行

Transition to a new humanity

アダムにある
古い
人間性

Old humanity in Adam

or

キリストに
ある
新しい
人間性

New humanity in Christ

question 5

**福音に示された
義認がもたらす
祝福は何か**

answer 5

**死の支配下の
人間性から
いのちの支配下の
人間性へ
移行させる祝福**

question 6

**福音は
罪を犯すことを
助長するので
ないか**

放縱

Arbitrarily

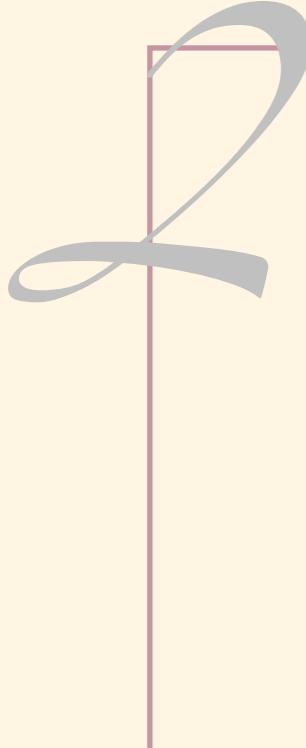
恵みを
味わうために
罪の中に
とどまる
べきでは？

Should We Stay In Sin To Enjoy Grace?

それでは、どのように
言うべきでしょうか。
恵みが増し加わる
ために、私たちは
罪にとどまるべき
でしょうか。

同じように、
あなたがたも
キリスト・イエスに
あって、自分は
罪に対して
死んだ者であり、

神に対して
生きている者だと、
認めなさい。



**律法違反の
刑罰はないの
だから
罪を犯しても
いいのでは？**

**May I Commit A Crime Because
There Is No Penalty For Violation?**

では、
どうなのでしょう。
私たちは
律法の下にではなく、

恵みの下に
あるのだから、
罪を犯そう、
となるのでしょうか。

ローマ 6:15

神に感謝します。
あなたがたは、
かつては
罪の奴隸でしたが、

伝えられた教えの
規範に心から服従し、
罪から解放されて、
義の奴隸
となりました。

バプテスマ

Baptism

キリスト・イエスに
つくバプテスマを
受けた私たちはみな、

その死にあづかる
バプテスマを
受けたのでは
ありませんか。

私たちは、
キリストの死に
あずかるバプテスマ
によって、
キリストとともに
葬られたのです。

それは、ちょうど
キリストが
御父の栄光によって
死者の中から
よみがえられた
ように、

私たちも、
新しいいのちに
歩むためです。

ローマ 6:3-4

水の中に沈む ↓

アダムにある
古い
人間性は
死に

Old humanity in Adam dies

水の中から上がる ↑

キリストに
ある
新しい
人間性に
復活した

Becoming a new humanity
in Christ

question 6

**福音は
罪を犯すことを
助長するので
ないか**

answer 6

**新しく与えられた
性質は
罪を犯すことを
助長しない**

question 7

**福音に示された
恵みだけでなく
律法の行いも
清い生活には
必要なのでないか**

律法主義

Legalism

ですから、律法は
聖なるものです。
また戒めも
聖なるものであり、
正しく、また
良いものです。

自分がしたいと
願うことはせずに、
むしろ自分が
憎んでいることを
行っているからです。

question 7

**福音に示された
恵みだけでなく
律法の行いも
清い生活には
必要なのでないか**

answer 7

**自分の力で
清い生活は
実現できない**

放縱

Arbitrarily

or

律法主義

Legalism

question 8

福音は
どのようにして
清い生活を
もたらすのか

子とする御靈
による
希望によって

According To The Hope
Of The Spirit As A Child

あなたがたは、人を
再び恐怖に陥れる、
奴隸の靈を
受けたのではなく、

子とする御靈を
受けたのです。
この御靈によって、
私たちは
「アバ、父」
と呼びます。

子どもであるなら、
相続人でもあります。
私たちはキリストと、
栄光をともに
受けるために

苦難をとともに
しているのですから、
神の相続人であり、
キリストとともに
共同相続人なのです。

それだけでなく、
御靈の初穂を
いただいている
私たち自身も、

子にして
いただくこと、
すなわち、
私たちのからだが
贖われることを

神の子とされた希望

1 神との親しい
親子関係に
入れられた希望

2 罪と死がない
完全ながらだが
与えられる希望

question 8

**福音は
どのようにして
清い生活を
もたらすのか**

answer 8

**神の子とする
聖靈によって**

question 9

**福音に示された
約束は
反故にされたり
しないか**

それでは、
尋ねますが、
神はご自分の民を
退けられたの
でしょうか。

決して
そんなことは
ありません。

ローマ 11:1

もし彼らの
捨てられることが

ローマ 11:15

イスラエル人の一部が
頑なになったのは
異邦人の満ちる時が
来るまでであり、

**神の賜物と召命は、
取り消されることが
ないからです。**

ローマ 11:29

question 9

**福音に示された
約束は
反故にされたり
しないか**

answer 9

**神は約束を
反故にしない**

question 10

**福音を信じる者は
どのように
生きるべきか**

ですから、
兄弟たち、
私は神のあわれみ
によって、
あなたがたに
勧めます。

ローマ 12:1-2

あなたがたの
からだを、
神に喜ばれる、
聖なる生きた
ささげ物として
獻げなさい。

ローマ 12:1-2

それこそ、
あなたがに
ふさわしい礼拝です。
この世と調子を
合わせては
いけません。

むしろ、
心を新たに
することで、
自分を変えて
いただきなさい。

ローマ 12:1-2

生きたささげ物

Live offerings

否定的命令形

Negative Imperative Form

この世と調子を
合わせてはいけません

Don't Be In Tune With This World

受動態命令形

Passive Order Form

心を新たにして自分を
変えていただきなさい

Renew Your Mind And Change Yourself

変わる

マタ17:2

マコ9:2

ロマ12:1

IIコリ3:18

それから六日目に、
イエスは
ペテロとヤコブと
その兄弟ヨハネだけ
を連れて、
高い山に登られた。

すると、弟子たちの
目の前でその御姿が
変わった。
顔は太陽のように
輝き、衣は光のように
白くなつた。

変わる

change

本来の性質を
はっきり表現する

Express the original nature clearly

型に
押し込む

Press into the mold



本来の性質を
解き放つ

Unleash the true nature

キリストに似る

Resemble Christ

画一的になること？

Becoming uniform?

変わる

change

本来の性質を
はっきり表現する

Express the original nature clearly

心をささげるとは

1

この世の考えに
染まる方向に
心を向けない

2

与えられた本来の
性質を表す方向に
心を向ける

question 10

**福音を信じる者は
どのように
生きるべきか**

answer 10

この世の考えに
自分の心を
押し込めず
与えられた本当の
自分の性質を
解放すべき

- 01 福音は義を明らかにする
- 02 古い性質は義に到達できない
- 03 義をもたらすのは信仰
- 04 旧約の人物もそうだった
- 05 義とされた新しい性質に移行できる
- 06 古い性質は新しい性質と共栄しない
- 07 古い性質は新しい性質を助けられない
- 08 新しい性質を助けるのは御靈
- 09 新しい性質が備わる約束は破られない
- 10 新しい性質を表す人生に生きる

Section 2-4

その他の福音

御国の福音 神の国の福音

Gospel Of The Kingdom

永遠の福音

Eternal Gospel

Section 2-5

第2章のまとめ

福音は
躍動する
いのちの世界に
人を導き入れる

Chapter 3

個人伝道 のポイント

Section 3-1

ピリポの例から



祈って行動

Pray And Act

さて、主の使いが
ピリポに言った。
「立って南へ行き、
エルサレムから
ガザに下る道に
出なさい。」

私がまだ語り、
祈り、自分の罪と
自分の民
イスラエルの罪を
告白し、

ダニエル 9:20-23

私の神の
聖なる山のために、
私の神、主の前に
伏して願いを
ささげていたとき、

ダニエル 9:20-23

すなわち、私が
まだ祈りの中で
語っていたとき、
私が初めに
幻の中で見たあの人

ダニエル 9:20-23

ガブリエルが、
すばやく飛んで来て
私に近づいた。
それは夕方の
ささげ物を
献げるころであった。

ダニエル 9:20-23

彼は私に
悟らせようとして
こう告げた。
「ダニエルよ。
私は今、
悟りによって

ダニエル 9:20-23

あなたを賢明に
させようとして
出て來た。
あなたが願いの
祈りを始めたとき、

ダニエル 9:20-23

一つのみことばが
出されたので、
私はそれを
伝えに来た。

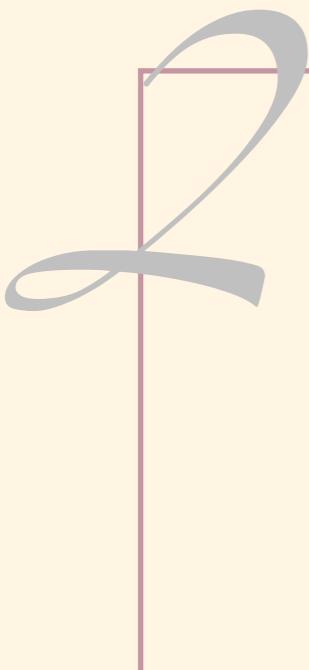
ダニエル 9:20-23

ピリポはサマリアの
町に下って行き、
人々にキリストを
宣べ伝えた。

群衆はピリポの話を
聞き、彼が行っていた
しるしを見て、
彼が語ることに、
そろって関心を
抱くようになった。

使徒 8:5-6

「立って南へ行き、
エルサレムから
ガザに下る道に
出なさい。」
そこは荒野である。



關係構築

Relationship Building

御靈がピリポに
「近寄って、
あの馬車と一緒に
行きなさい」
と言われた。

使徒 8:29-31

そこでピリポが
走って行くと、
預言者イザヤの書を
読んでいるのが
聞こえたので、

「あなたは、
読んでいることが
分かりますか」
と言った。
するとその人は、

「導いてくれる人が
いなければ、
どうして
分かるでしょうか」
と答えた。

そして、
馬車に乗って
一緒に座るよう、
ピリポに頼んだ。

使徒 8:29-31

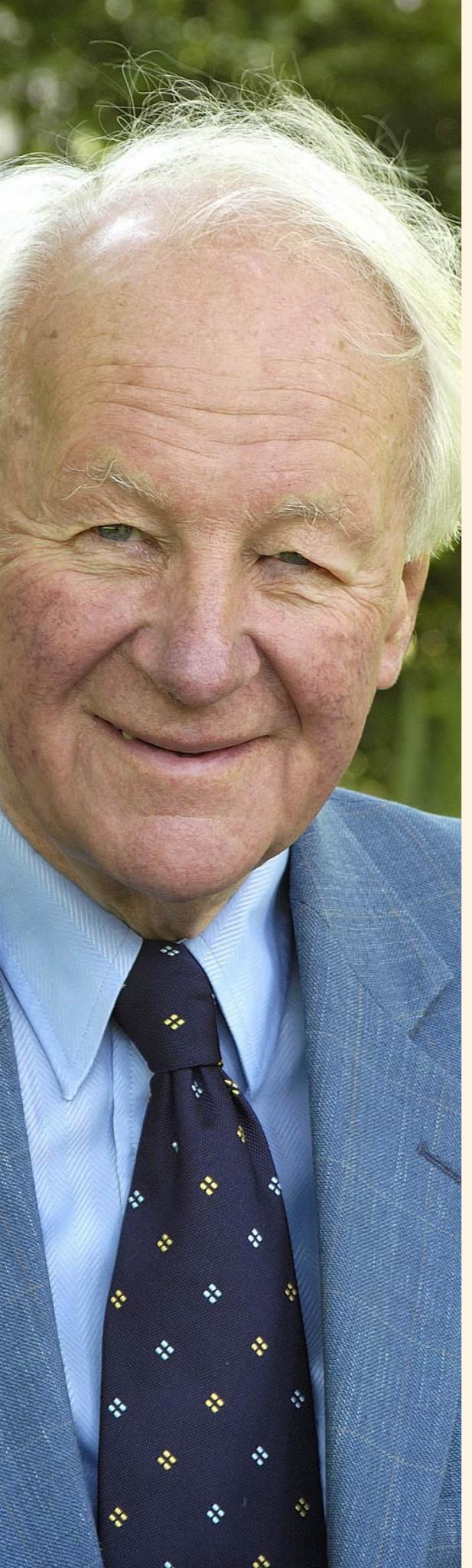
近寄って

Approach

そこでピリポが
走って行くと、
預言者イザヤの書を
読んでいるのが
聞こえたので、

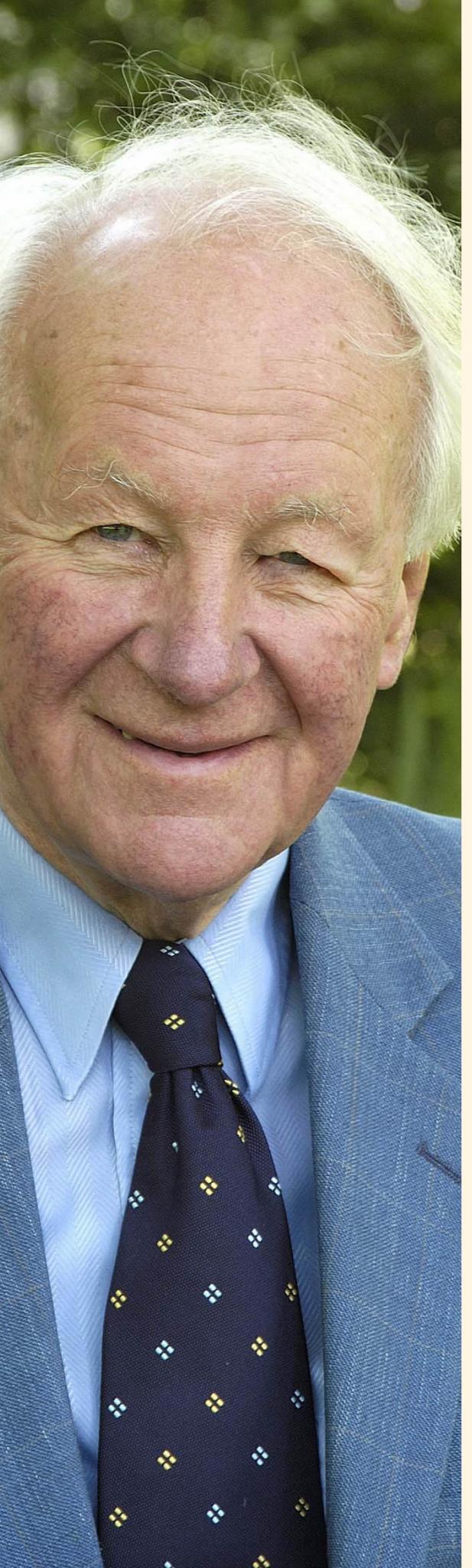
「あなたは、
読んでいることが
分かりますか」
と言った。

使徒 8:29-31



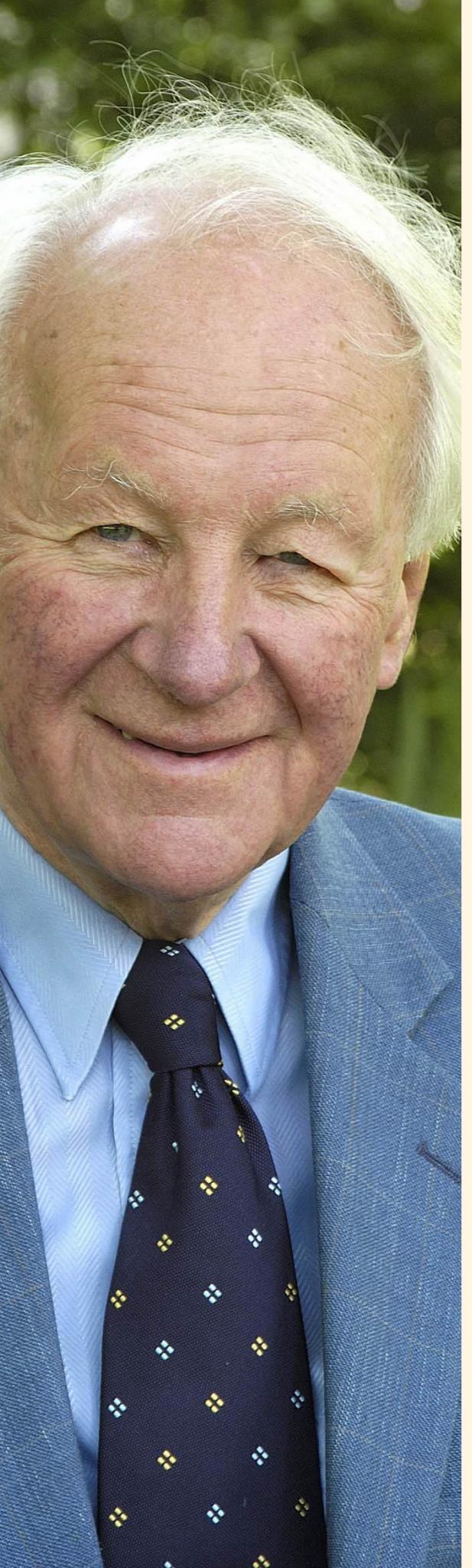
“

鍵をもって
おられるのは
キリスト
である。



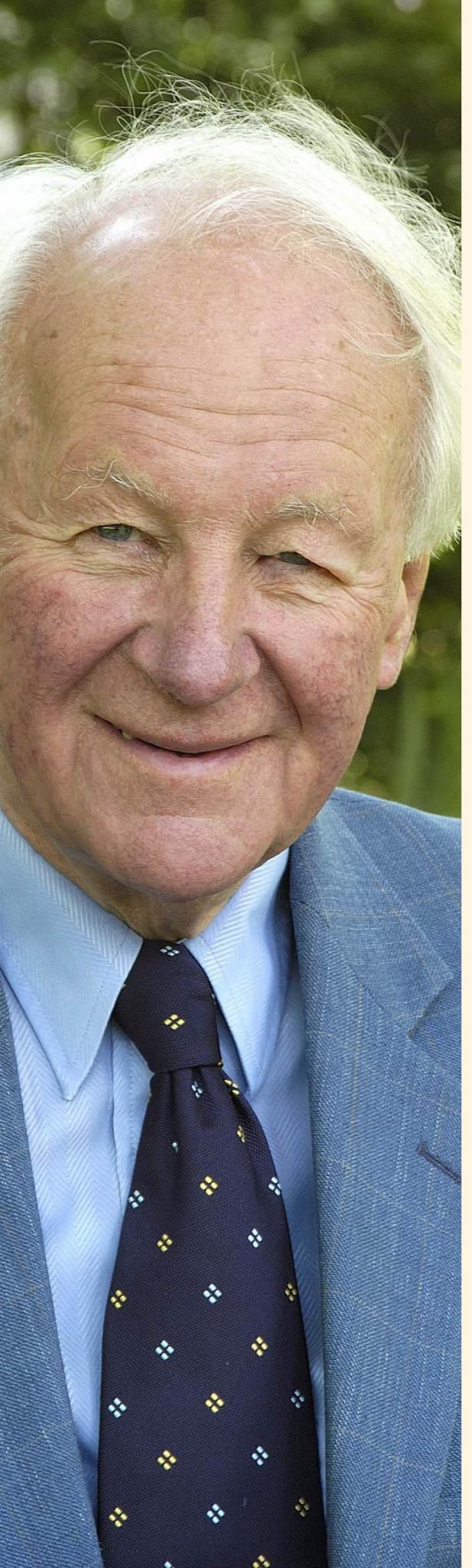
“

ドアを開けて
くださるのは
キリスト
である。

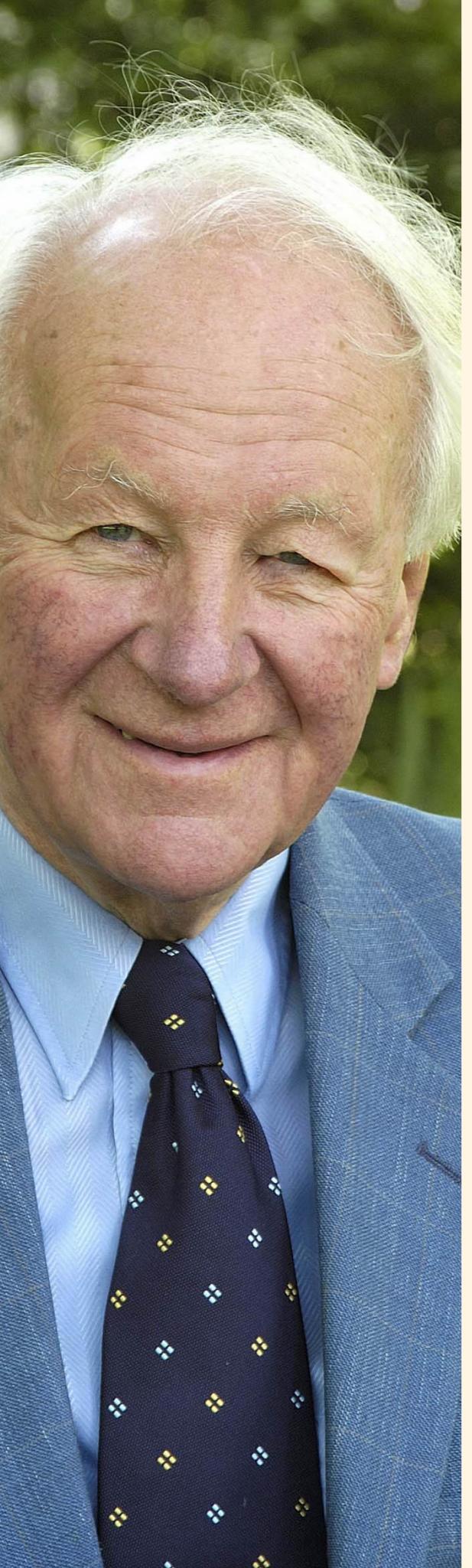


“

であると
するなら、
まだドアが
閉じられて
いるのに、

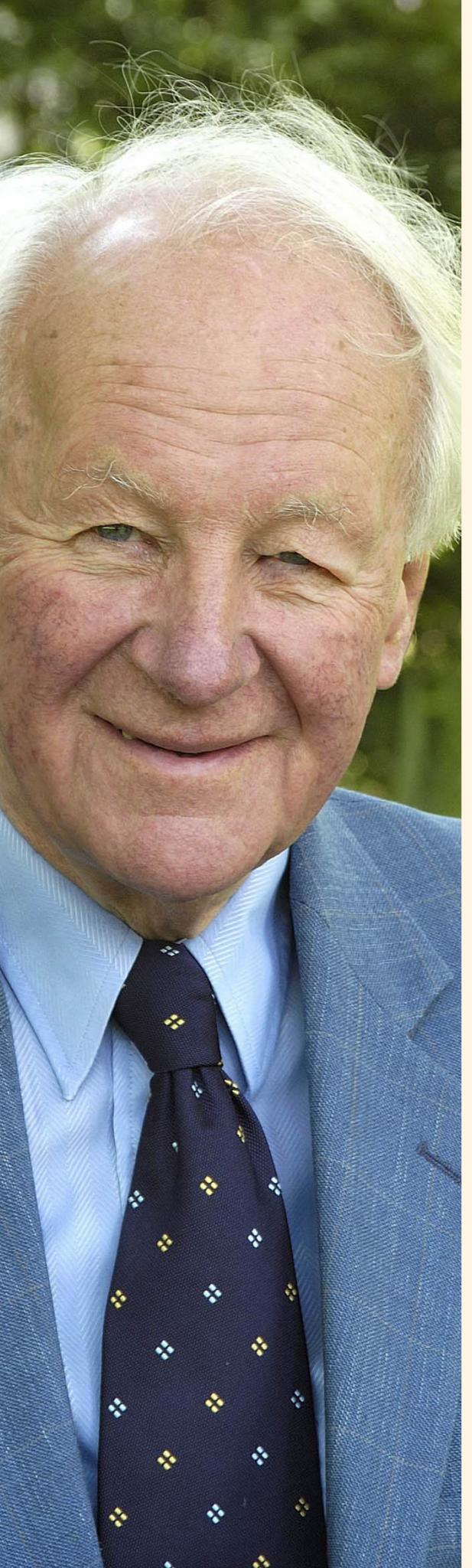


“
ノックも
せずに、
無作法にも
入り込むような
まねはやめよう
ではないか。

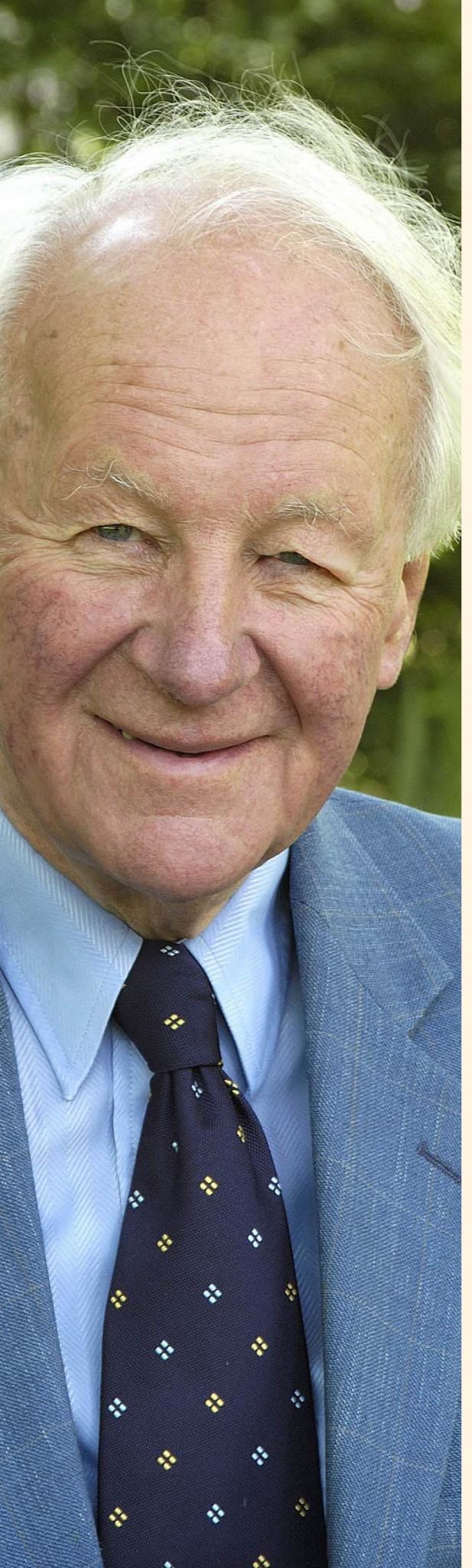


“

主が突破口を開いてくださるまで、我々は待ていなければならぬ。

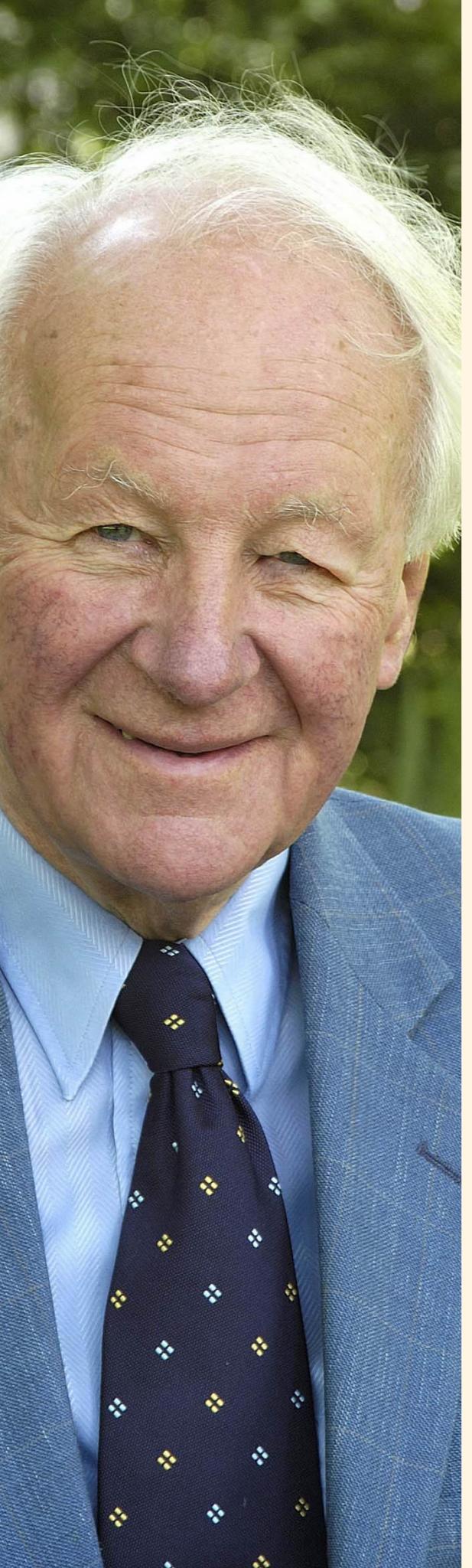


“
無作法な、
または、
厚かましい
『証し』なる
ものによって、



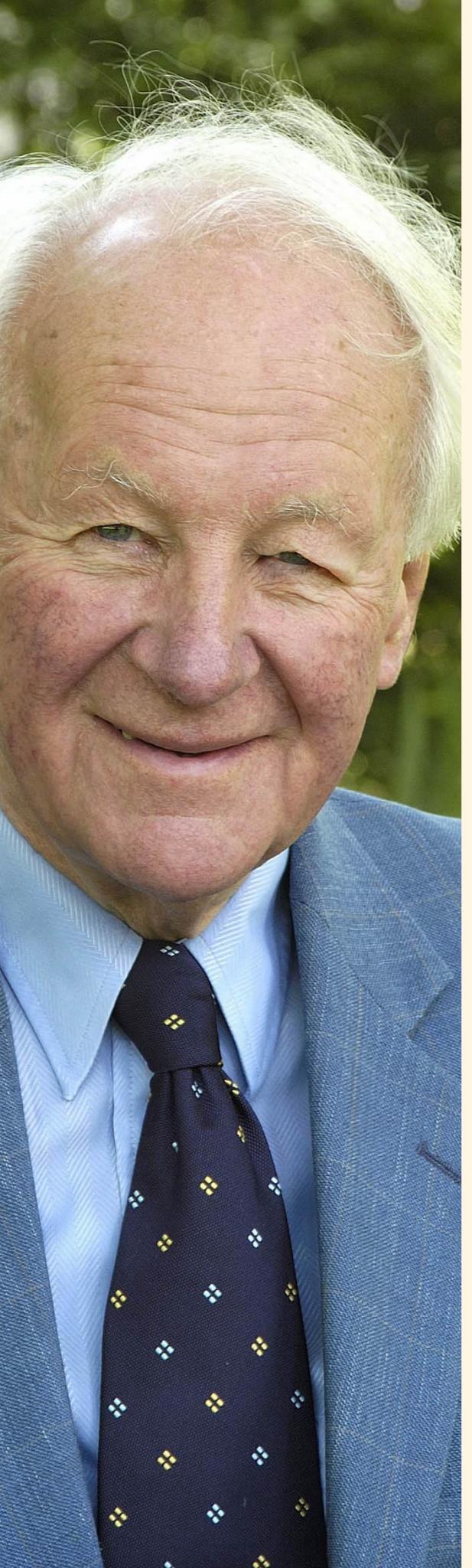
“

キリストの
御名にいつも
汚名が
着せられている。



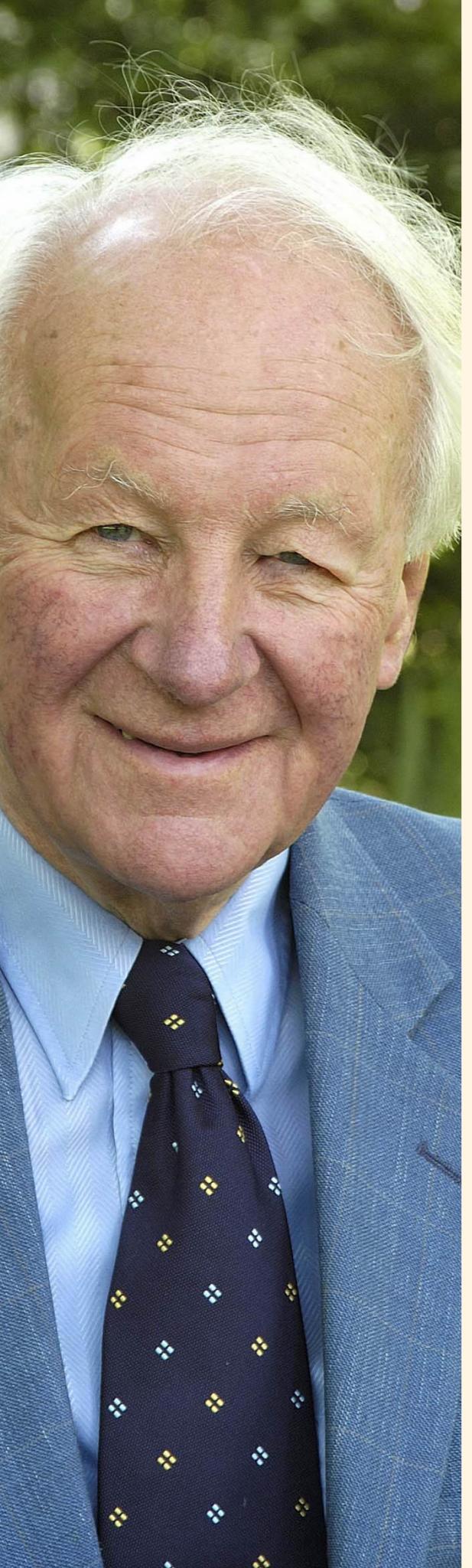
“

家庭においても、
職場においても、
友人や親族が
キリストのもの
となるように
求めるのは、

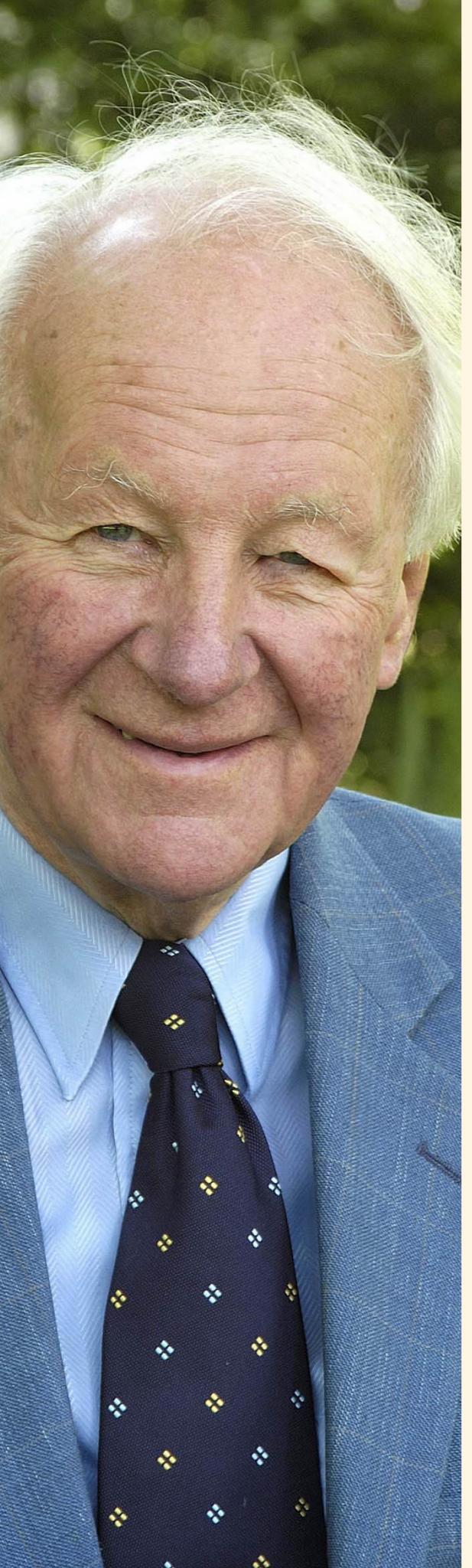


“

**確かに
間違っては
いない。**

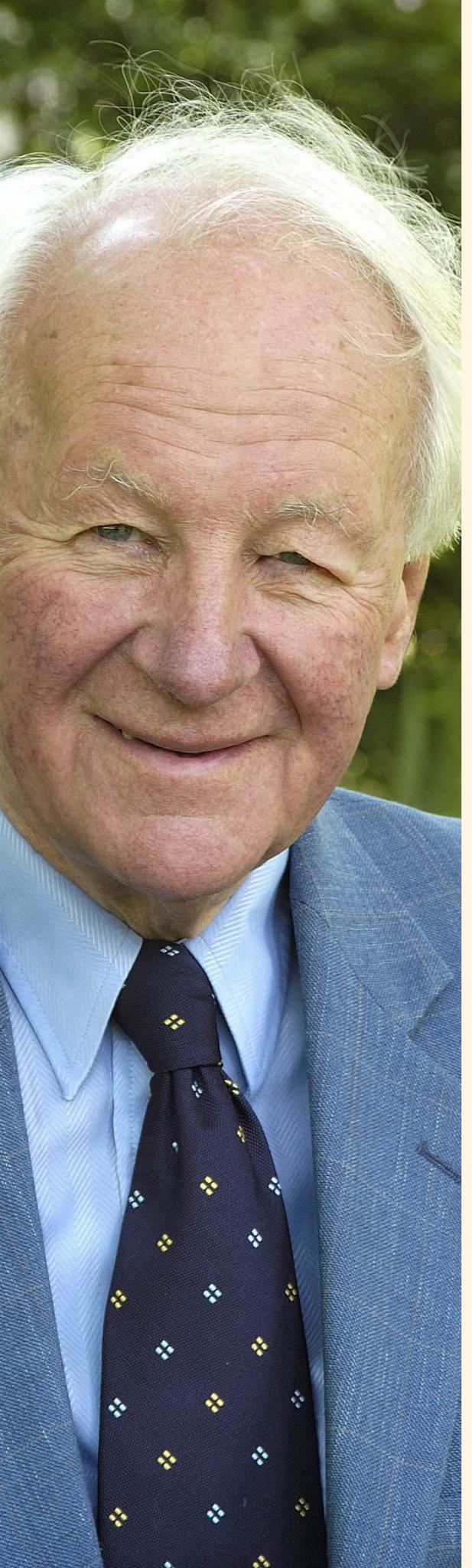


“しかし、
ときとして、
私たちは、
神よりも
はるかに
急いでいる
ことがある。



“

忍耐せよ。
熱心に祈り、
たくさんの愛を
注げ。



“

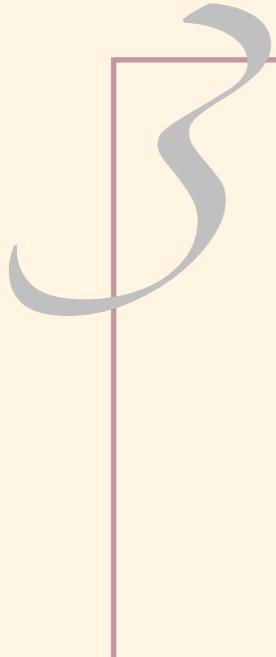
そして、
証しの機会が
訪れるのを
期待して待て。

-John Robert Walmsley Stott

“
伝道の対象
としてではなく、
人をあるが
ままに、
一人の
人間として
愛しましよう。

“
伝道の90%は、
未信者を
どう愛するかに
かかっている
と言われて
います。

-Jim Peterson



状況確認

Status Check

宦官はピリポに
向かって言った。
「お尋ねしますが、
(中略)」
ピリポは口を開き、



“
私たちの中で、
「救靈に
熱心な人」に
出会わなかつた
人はいません。



“

忙しく歩き回り、
疑うことを行
知らない、
見込みの
ありそうな人を
見つけると、



“

途切れず
話しかけます。



“
そこで、
どうしたら
救われるか
という
一定の公式に
したがって導き、



“

ついに相手が
根負けして、
この人から
逃れるためには、
これしか方法は
ないと観念して、



“
信仰告白を
するまで
しつこく
つきまとう人の
ことです。



“

回心者を新たに
獲得すると、
それを記録し、
さらに、
数字を稼ごうと



“

見込みの
ありそうな人を
探し回ります。



“

果たして、
これは福音伝道
といえるの
でしょうか。



“
これが
福音伝道で
あるはずはない、
と私たちは
認めざるを
得ません。



“

むしろ、一種の
宗教的嫌がらせ
(ハラスメント)
です。



“

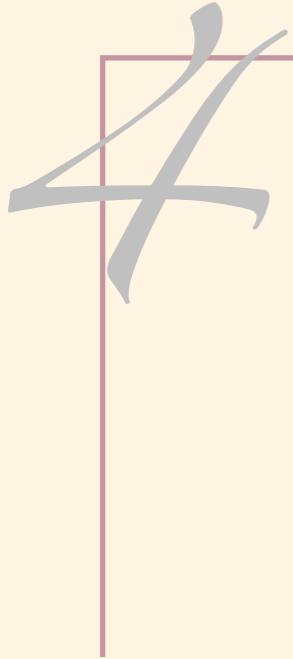
肉の力で
なされる奉仕は
どれもみな
そうである
ように、



“

これもまた
益少なく
害の多い
ものです。

-William Macdonald



福音の全体確認

Gospel Review

ピリポは口を開き、
この聖書の箇所から
始めて、
イエスの福音を
彼に伝えた。

使徒 8:35

あなたがたの
うちにある
希望について
説明を求める人には、

だれにでも、
いつでも弁明できる
用意をしていなさい。

私は驚いています。
あなたがたが、
キリストの
恵みによって

ガラテヤ 1:6-7

自分たちを召して
くださった方から、
このように
急に離れて、
ほかの福音に
移つて行くことに。

ガラテヤ 1:6-7

ほかの福音と
いっても、
もう一つ別に
福音があるわけでは
ありません。

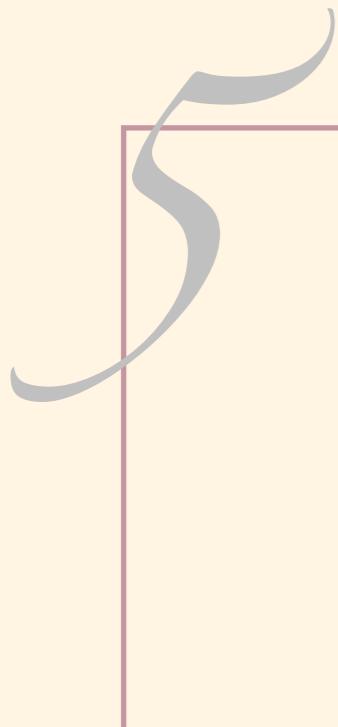
ガラテヤ 1:6-7

あなたがたを
動搖させて、
キリストの福音を
変えてしまおうと
する者たちが
いるだけです。

ガラテヤ 1:6-7

私たちは、多くの
人たちのように、
神のことばに
混ぜ物をして
卖ったりせず、

誠実な者として、
また神から
遣わされた者として、
神の御前で
キリストにあって
語るのです。



主に導く

Lead To The Lord

二人が水から
上がって来たとき、
主の靈がピリポを
連れ去られた。

宦官はもはや
ピリポを見ることは
なかつたが、
喜びながら
帰つて行った。

“
わが上に
主の麗しさのみ
輝け。
得るために、
われは
失うことを
求めん。

“
その器を
忘れしめよ。
見るべきは
ただ主のみなり。

-Kate B. Wilkinson

Section 3-2

第3章のまとめ

**福音伝道は
魂を思う
祈りから始まる**

Chapter 4

世界視点で見る 福音伝道

Section 4-1

福音の段階的波及

そして、エルサレム、
ユダヤとサマリアの
全土、さらに
地の果てまで、
わたしの証人と
なります。

Section 4-2

大宣教命令第一段階

エルサレム中に
自分たちの教えを
広めてしまった。

使徒 5:28

エルサレムで
弟子の数が
非常に増えていった。
また、祭司たちが
大勢、次々と
信仰に入った。

使徒 6:7

使徒2:16-21

Acts 2:16-21

その後、わたしは
すべての人間にわたしの
靈を注ぐ。
あなたがたの息子や
娘は預言し、
老人は夢を見、

青年は幻を見る。

(中略)

「見よ。わたしが
ユダとエルサレムを
回復させるその日、
その時、

ヨエル 2:28,3:1

聖靈降臨

Holy Spirit Descent

メシヤ的王国樹立

Establishment Of Messianic Kingdom

Section 4-3

大宣教命令第二段階

その日、
エルサレムの教会に
対する激しい迫害が
起こり、

使徒 8:1

使徒たち以外はみな、
ユダヤとサマリアの
諸地方に散らされた。

Section 4-4

大宣教命令第三段階

あの人は
わたしの名を、
異邦人、王たち、

使徒 9:15

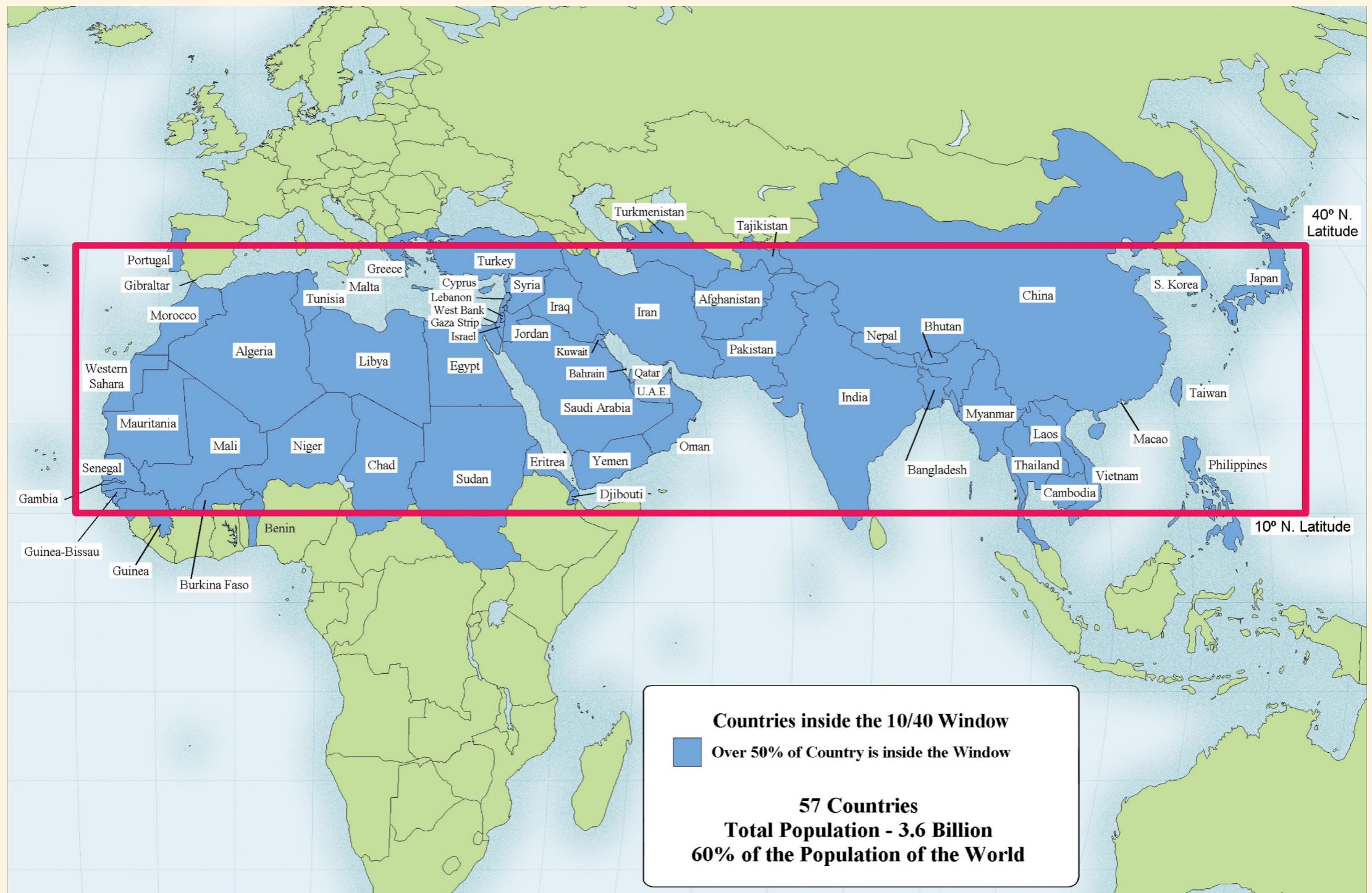
イスラエルの子らの
前に運ぶ、
わたしの
選びの器です。

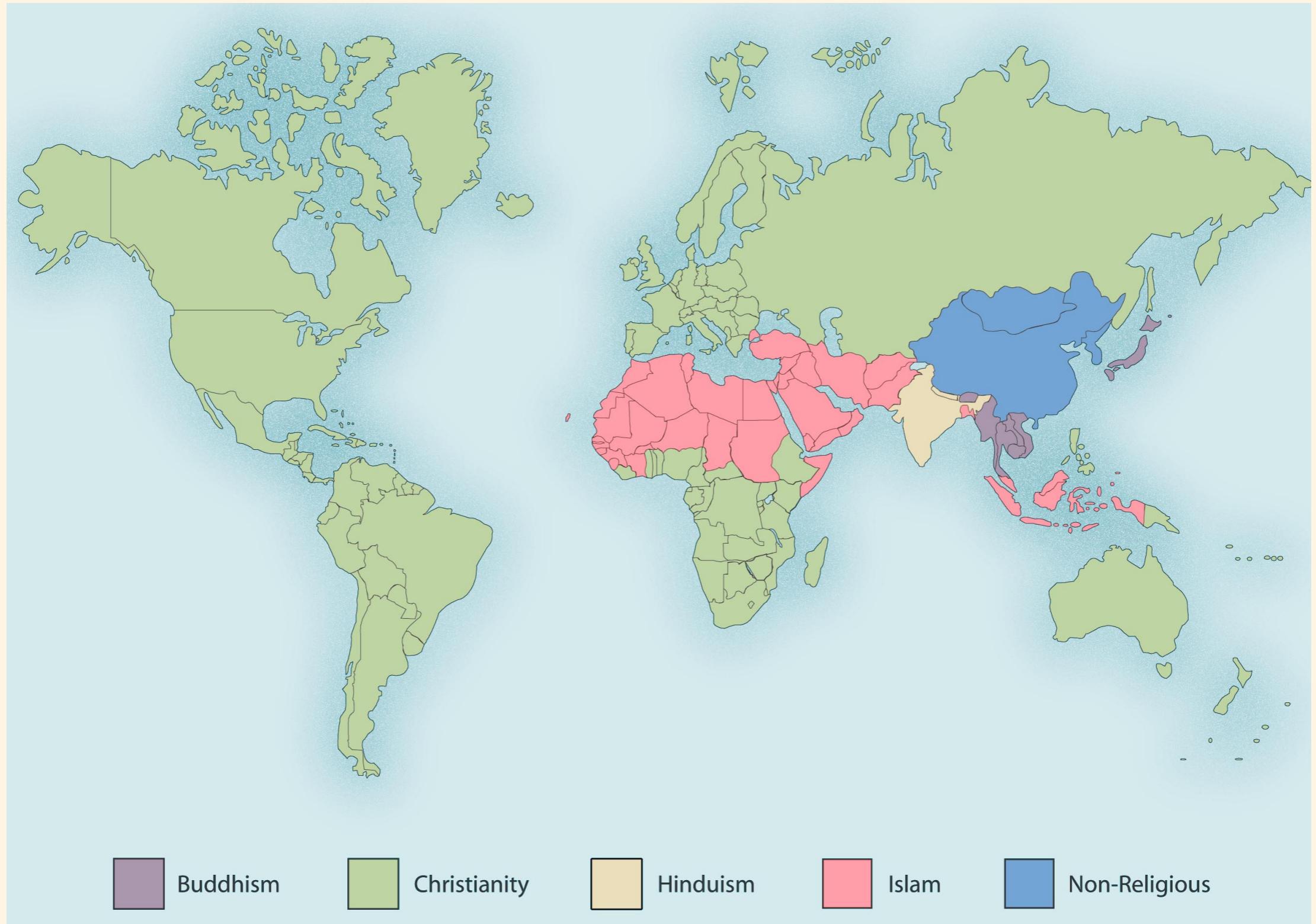
使徒 9:15



Section 4-5

10/40の窓







“

戦闘に従事する
兵士一人に
対し、前線の
背後で任務を
果たす人々は
数人います。



“

第二次世界
大戦において、
米国陸軍では、
全部隊の内、
戦闘に
参加したのは、



“

わずか
30%でした。



“
残りの人々は、
工兵、補給、
兵器、通信、
化学、輸送の、
支援部隊と
軍政部でした。



“

主のみわざに
おいても、
この状況に
類似したもののが
あります。



“クリスチャンは
みな兵士では
ありますが、
そのすべてが
戦闘の最前線に
いるわけでは
ありません。



“

全員が説教者、
伝道者、
あるいは、
教師、または、
牧師とは
限りません。



“
**全員が、
世界各地の
最前線で仕える
宣教師でも
ありません。**



“

神は、ご自分の
軍隊にも
支援部隊を
置いておられる
のです。



“

**戦いの潮目が
変わるまで、
毎日苦闘する
忠実な祈りの
戦士がいます。**



“前線にできるだけ多くの資金を送ろう、と切り詰めて生活をする、献身的な管理者がいます。



“敵と真正面から
戦っている
人々に、
食糧と
宿泊場所を
提供する
人々もいます。



“

さらに、いつか
遠い国々にまで
メッセージを
届けるであろう
原稿を、
タイプする人
もいます。



“

キリスト教の
書物を編集し、
翻訳し、
印刷する人も
います。



“
〈王〉の御用に
役立つように
息子や娘を育て
ながら、家庭で
仕える優れた
女性たちが
います。



“
戦いの激戦地に
いる一人に
対して、数人は
支援部隊として
仕えて
いるのです。



“

やがて、報酬が
渡されるとき、
支援的役割を
持っていた人も、



“
戦争の英雄として誉れを受ける人々と、平等に分け合うのです。



“

前線の背後で
静かに任務を
果たした者も、
福音伝道の
著名人たちに
並んで、



“
等しい栄誉を
受けるのです。
神は、
そのすべての
選別が
おできに
なります。



“

一人ひとり、
全員の貢献度の
重要性を正確に
測ることが
できるのです。



“

驚くことが
山ほど
あるでしょう。



“

余り重要では
ない、
と私たちが
考えていた
目立たない
人々が、



“

実は命運の
かかる部署に
いたことが
わかるでしょう。



“

彼らが
いなかつた
ならば、



“

私たち自身も
何も
できなかつた
ことが
わかるはずです。

-William Macdonald

Section 4-6

第4章のまとめ

すべての
クリスチヤンが
福音の
前進のために
召されている

Whole Summary

全体まとめ

Summary Of Introduction

序論のまとめ

福音を伝える人
という福音書を
未信者は
読んでいる

Chapter 1 Summary

第1章 福音を伝える幸い のまとめ

福音伝道は
罪のきよめを
拡大する
特権ある人生

Chapter 2 Summary

第2章 福音についての考察 のまとめ

福音は
人を全く新しい
いのちの世界に
導き入れる

Chapter 3 Summary

第3章 個人伝道のポイント のまとめ

**福音伝道は
祈りに
基づいている**

Chapter 4 Summary

第4章 世界視点で見る 福音伝道 のまとめ

福音を
伝えることは
靈的な戦いを
戦うこと

EOF

- 参考資料

- 高木慶太『信じるだけで救われる』いのちのことば社、2004年
R・A・ファーレル『集会の真理と行動』伝道出版社、1975年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解1』伝道出版社、2004年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解2』伝道出版社、2006年
ウィリアム・マクドナルド『新約聖書注解3』伝道出版社、2008年
ポール・ハッタウエイ『バック・トゥ・エルサレム』マルコーシュ・パブリケーション、2006年
C・H・マッキントシ『キリストの大宣教命令』エマオ出版、2006年
C・H・マッキントシ『真実な回心とは?』エマオ出版、2007年
A. Scott Moreau、Gary R. Corwin、Gary B. McGee『Introducing World Missions』Baker Academic、2004年
ウィリアム・バークレー『新約聖書のギリシア語』日本キリスト教団出版局、2009年
ウィリアム・マクドナルド『この日を主とともに』ゴスペルフォリオプレスジャパン、2014年
J・B・カリー『ローマ人への手紙』伝道出版社、1995年

- 改版履歴

-
- 2015年10月 初版
2015年12月 改版
2016年4月 改版
2016年7月 改版
2017年6月 改版
2019年7月 改版
2019年8月 改版
2019年9月 改版
2019年10月 改版
2019年12月 改版
2020年1月 改版
2020年2月 改版
2020年3月 改版
-